

各関係機関長 様

熊本県病害虫防除所長

オオタバコガの発生状況と防除対策（技術情報第4号）について（送付）
このことについて、下記のとおり取りまとめましたので、業務の参考に御活用ください。
記

オオタバコガ成虫の誘殺数が多い状況である。今後の気象予報を考慮すると、今後発生が早まり、各作物の被害が増加する可能性があるため、本虫の発生に十分注意して、捕殺や薬剤防除等による防除対策を行う。

1 現在の発生状況

- (1) 合志市、山都町に設置したフェロモントラップによるオオタバコガの誘殺数は、4月以降平年より多い状況が続いている（表、図1～2）。
- (2) 八代市に設置したフェロモントラップによる誘殺数は、6月第2半旬に増加している（図3）。
- (3) 阿蘇市に設置したフェロモントラップにおいては、4月上旬から5月下旬まで誘殺が確認されず、6月現在も他地域に比べ誘殺数は少なく推移している（図4）。

2 今後の発生予想

福岡管区气象台が6月13日に発表した九州北部地方1か月予報によると、気温は平年より高い予想のため、幼虫の発育や、次世代成虫の羽化が早まり、野菜類や花き類等において平年より被害が拡大しやすいことが懸念される。

3 被害が懸念される作物

トマト、ミニトマト、ナス、ピーマン、イチゴ（育苗ほ）、オクラ、アスパラガス、キャベツ、露地キク、宿根カスミソウ等

4 防除対策等

- (1) 卵塊ではなく、1個ずつ葉や花に産卵するため、卵や若齢幼虫は見つけにくいですが、新しい食害痕や虫糞の早期発見に努め、幼虫を見つけ次第捕殺する。
- (2) 中老齢幼虫になると果実の中に食入するほか、薬剤の効果も劣るため、若齢幼虫を対象に薬剤防除する。
- (3) 摘心、摘花した脇芽や花蕾などは卵や若齢幼虫が寄生している可能性が高いため、ほ場外に持ち出す。
- (4) 施設栽培では目合い4mm以下の防虫ネットを展張し、成虫の侵入を抑制する。
- (5) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、系統の異なる薬剤のローテーション使用を行う。
また、薬剤の使用時にはラベルに書いてある登録内容を確認して使用する。
- (6) 熊本県病害虫防除所のホームページに掲載しているフェロモントラップの誘殺状況 (<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/75/201915.html>) を確認し、防除の参考にする。

表 各地域のオオタバコガの誘殺状況(5月第1半旬~6月第2半旬)

市町村名(地域名)	本年値(頭)	平年値(頭)	平年比(%)
合志市(栄)	48.0	17.3	277.5
山都町(鶴ヶ田)	44.8	25.5	175.7
八代市(鏡)	10.0	17.9	55.9
阿蘇市(一の宮)	1.0	2.4	41.7

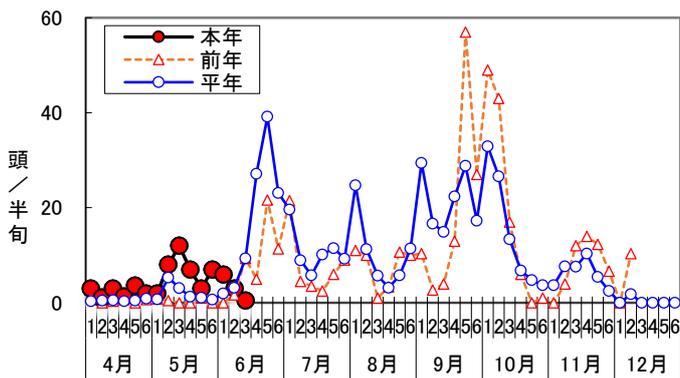


図1 合志市栄フェロモントラップ誘殺消長

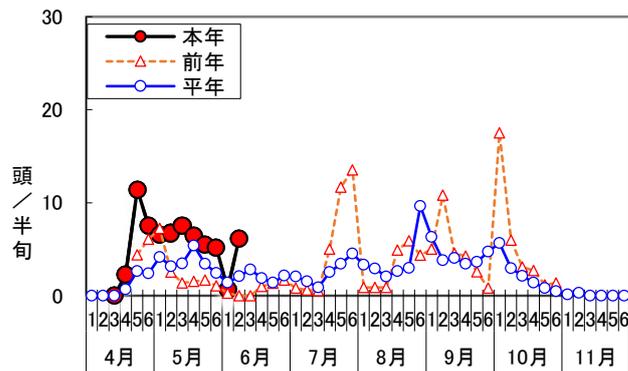


図2 山都町鶴ヶ田フェロモントラップ誘殺消長

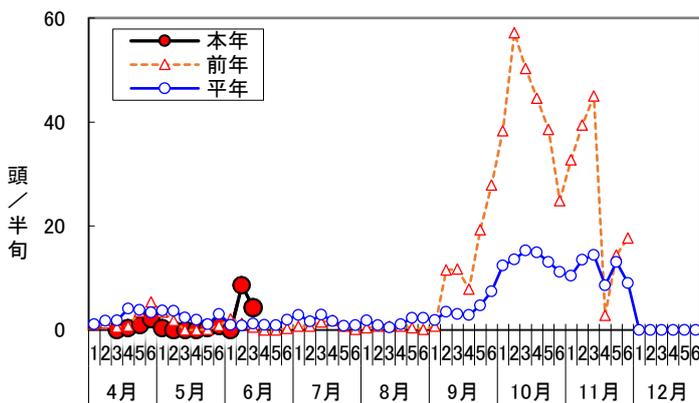


図3 八代市鏡フェロモントラップ誘殺消長

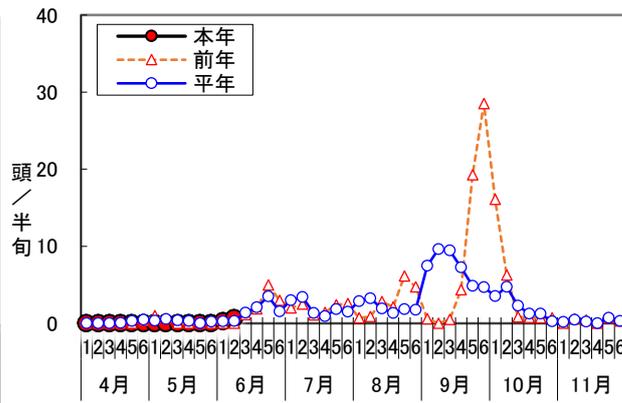


図4 阿蘇市一の宮フェロモントラップ誘殺消長



図5 オオタバコガ幼虫

(左)キク葉上の若齢幼虫、(右)老齢幼虫のトマト果実への食入



図6 オオタバコガによる食害 (左)トマト花、(右)トマト葉

熊本県病害虫防除所

(熊本県農業研究センター 生産環境研究所内)

担当：福岡、肥後

TEL 096-248-6490 FAX 096-248-6493